

V 整備内容

5.1 各ゾーンのソフト展開

①公園全体で一貫性のあるソフト展開

本公園が一定の目標に向かって成長できるよう、園内で展開されるソフトプログラムについて、整備・活用の方針から導かれる共通テーマを設定する。本公園が目指すのは「サステイナブル・パーク」であり、テーマとしては、「環境と健康」「参加と交流」の2大テーマでの展開が考えられる。

「環境と健康」は、互いにリンクした深い関係にあり、豊かな県民生活実現には不可欠なものである。また「参加と交流」は、博覧会の成果そのものであり、県民と共に成長・進化し続ける公園づくり推進の最大の原動力となるものである。

②共通テーマに基づいた運営プログラム例

園内で展開されるソフトプログラムは、公園管理運営の中心となるマネジメント会議にて全体統括し、各エリア毎で共通テーマに基づいた様々なプログラムを実践していく。

各プログラムの企画、運営は、基盤づくり期においては行政や専門家のアドバイスが必要であるが、将来期にはNPOやボランティア団体等の県民主体型の取り組みにより進めていくものとする。そして、公園整備については、これらのプログラム運営に必要な機能や規模を備えた施設整備を図るものとする。

各ゾーンにおいて、上記の2大テーマに沿った、整備・活用の目標の実現への取り組みにつながる運営プログラム例を検討した。(次図及びP.40～P.41参照)

なお、これらのソフトプログラムは、活動の展開や種類に応じて、公園内から公園外へも広がりを持つものである。

■ 共通テーマに基づいたプログラムの方針及び運営プログラム例

展開エリア	2大テーマ	
	環境と健康	参加と交流
こどもの ひろば	子ども向けの身近な生活系環境学習 ・省エネカー・ソーラーカー体験乗車 ・生活環境教育要素遊びのプログラム など	子どもの遊び、多様な体験交流 ・遊びの王国づくり、物語ひろばづくり ・ツリークライミング、グローイングビレッジ ・子育て支援・各種遊びのプログラム など
みんなの ひろば	環境、生活、健康に関する総合的環境学習 ・最新緑化技術紹介プログラム ・サステナブルな県民公園づくり ・人間の出すCO2体感イベント など	国際交流、地域間交流、博覧会を継承した交流 ・各種県民参加プログラム ・県民花づくりプログラム ・キャンプリーダーとのクッキング教室 ・季節の地元食材の青空レストラン など
健康スポーツ ひろば	豊かな緑の環境の中での健康づくり ・環境と健康の関わり体感プログラム ・ヨガやウォーキングイベント など	健康づくり、スポーツを通じた交流 ・マラソン・ジョギング大会 ・各種スポーツ大会 など
日本庭園	自然・文化・昔の知恵・和の精神などに関する体験・学習・イベント ・自然と融合した庭園を活用した造園技術講習会 ・日本庭園でのヒーリングイベント など	伝統・歴史・文化に関するイベント ・県民参加の伝統文化継承プログラム ・日本独自の文化・季節行事 ・あかりアート など
親林楽園 林床花園 南部樹林地	自然や資源循環の環境学習や、緑の中での健康づくりイベント ・環境学習・樹林管理プログラム ・緑のリサイクルセンター見学、堆肥配布会 ・インタープリターガイドツアー ・森の中でのヨガやウォーキングイベントなど	自然を通じた交流活動 ・インタープリター養成プログラム など



全体統括

公園マネジメント会議

③ 県民参加形態の区分

本公園では、県民の参加・協働によりみんなで公園を育てていくため、公園整備・活用の各段階において、県民の参加を図っていく。

公園づくりにおいては、県民の関わるレベルに応じて県民参加の形態が区分される。(下表参照) 本公園では、各エリアの性格や利用イメージに応じて県民参加のレベルを検討し、利用イメージから導かれる施設や広場ごとに県民参加形態の区分を設定した。

(P. 40～P. 41 参照)

この県民参加形態の区分設定は、今後の公園整備や管理運営の展開や公園マネジメント会議の成熟度などに応じて随時見直しを行い、公園全体において高いレベルでの県民参加の実現を目指していく。

■ 県民参加形態(県民参加のレベル)*

県民参加レベル		定義(県民と行政の関係)	プログラムへの関わり方	県民参加形態
県民の関わり	高	パートナーシップに基づき企画から実行まで、行政と市民が役割を分担して目的達成を図る 行政【主体】=(対等)=市民【主体】	公園マネジメント体制への参画 各プログラムの企画・運営・参加	★ 施設づくり
		行政により設けられた場に目的を持って、場づくりや運営など各プロセスの場面に能動的に関わり提案する 行政【主体】≥市民	各プログラムへの能動的参加	★ ソフト企画
		行政により設けられた場に受動的に参加する 行政【主体】>市民	各プログラムへの受動的参加	★ ソフト運営管理 ★ 維持管理

※ 以下の文献を参考に作成

- ・後藤和夫(2004): ボランティアによるランドスケープマネジメント、緑の読本シリーズ 69
- ・山岡義典(2003): 協働の土台としての市民参加の重要性、都市問題研究 55 巻
- ・アーンスタイン「参加の梯子」論 (Arnstein's Ladder of Citizen Participation)

■ 県民参加形態の区分内容

県民参加形態の区分	県民参加形態の内容
★ 施設づくり	県民との協働により、公園整備の企画から施設施工、運営管理までを実施する
★ ソフト企画	県民との協働により、エリアのソフトプログラムの企画から運営管理までを実施する
★ ソフト運営管理	県民の参画により、エリアのソフトプログラムの運営管理を実施する
★ 維持管理	県民の参加・参画により、園内施設や植栽の維持管理を実施する

■ソフト展開の内容-1

■こどものひろば ～子どもの遊び・体験・レクリエーション～

【整備施設】

- 県民公園づくり空間 ★★★★★
 - ・子どもたちが自らものをつくる体験を通して、創造性を高めるワークショップ空間

【運営プログラム】

- 遊びの王国づくり、物語ひろばづくり、郷土の玩具づくり

- 乗り物体験広場 ★

- ・ワクワク感、爽快感などを体験できる乗り物遊戯空間

【運営プログラム】

- 未来型乗り物・面白乗り物の乗車体験（省エネカー、ソーラーカー等）

【博覧会前整備施設】

- 自然体感遊具 ★★★★★

- ・自然の力や仕組みを体験する遊戯施設で楽しく遊びながら自然を理解する空間

【運営プログラム】

- ツリークライミング、グローイングビレッジ

【既存施設】

- 児童総合センター ★

- ・児童の健全育成と子育て環境づくりの推進

【運営プログラム】

- 見る・触れる・感じる・考える・身体を動かす等、全身の感覚をフルに発揮させる新鮮な遊びのプログラムや育児支援プログラム

- 国際児童年記念館・童話館 ★

- ・児童の健全育成の推進

【運営プログラム】

- 子どもホールを活用した子ども発表会



- 県民参加形態の区分凡例
- ★ 施設づくりにおける県民参加
 - ★ ソフト企画における県民参加
 - ★ ソフト運営管理における県民参加
 - ★ 維持管理(植物、清掃)における県民参加

■エントランス(北・西) ～公園の顔となる空間～

【整備施設】

- 北エントランス広場 ★

- ・力石名古屋線、東部丘陵駅から安全快適に利用できる入口、広々とした公園の高台にあり、開放性の感じられるひろばの明るいイメージを演出

- 公園管理の中心的役割を担う施設(パークセンター):北エントランス ★★★★★

- ・公園管理運営、県民参加活動拠点、休憩、飲食、インフォメーション、屋内運動、防災時対応(アイデアのひろばの具体化に伴い、必要があれば見直しを行う)

- 西エントランス広場 ★

- ・田初名古屋線からのアクセスに対応した入口、もりのゾーンに近接した入口として池や森を背景とした落ち着いたイメージや入口としての象徴性を演出、公園のシンボルとなるモニュメントの設置

- あいちアートスクエア:西エントランス ★★★★★

- ・彫刻等を配し、瓦などの県産材を舗装等に活用した広場、施設づくりから県民も参加

- 駐車場 ★

- ・公園北口の混雑緩和を図ることと公園利用者の利便性を考慮し、北・西の両エントランスに配置

■アイデアのひろば ～博覧会の理念と成果を引き継いだ展開～

- ・博覧会テーマを引き継ぎ、それらの成果をさらに発展させる展開の場

【整備施設】 ※県民参加形態についても今後検討する

- 博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン(テーマゾーン)

- 博覧会を記念する展示施設

- ・博覧会参加国から贈呈された記念品の展示

- ・迎賓館、レセプションホールを活用

- 博覧会記念樹の森

- ・博覧会参加国による植樹セレモニーの記念樹を移植



■みんなのひろば ～水と緑の中での多様な交流～

【整備施設】

- 大芝生広場 ★★★★★

- ・大勢の人が参加・交流できる多様なイベントに対応する広く開放的な空間
- ・健康づくりイベント、万博記念イベント、野外コンサート、防災の日イベント等
- ・いろいろな県民参加イベント・プログラムの主会場とする

- ・博覧会時の愛・地球広場の人工芝及びステージを活用

【運営プログラム】

- 各種県民参加交流にかかわるプログラム



- 花の広場 ★★★★★

- ・花や緑のまちづくり推進に役立つ緑化技術の提案や花を生活に取り入れるライフスタイルの提案

- ・花・緑の育成管理技術の研修・講習会の開催の場として展開

- ・花木や草花により、四季の景を楽しむデザイン花壇やバイオラングの技術を活用した垂直花壇

- ・季節の花祭りイベント、フラワーカフェ

【運営プログラム】

- 県民花づくり、企業の最新技術紹介、花遊びの伝承花壇コンテスト、花壇や花畑の世話



- みんなでつくるキャンプ場 ★★★★★

- ・県民参加型による施設計画
- ・デイキャンプ等の気軽な日帰り型アウトドアレクリエーション施設、学校行事や団体行事で一同に集まってみんなで料理をつくるアウトドアクッキング空間

- ・県民参加による料理の相談・指導等

【運営プログラム】

- キャンプリーダーによるクッキング教室、季節の地元食材を紹介・試食する青空レストラン



- 県民公園づくり空間 ★★★★★

- ・持続可能な社会づくり、「サステイナブル」に関わるテーマに基づいた県民協働による公園づくりの場、県民公募型ワークショップにより、つくる過程を大切にしながら少しずつ整備を進める

【運営プログラム】

- サステイナブルをテーマとしたビレッジ(資源循環、自然エネルギー活用の体験村)づくり

- ～間伐材を使つての公園施設ベンチ、案内板、炭づくり、野鳥の家づくり、落ち葉を使つての堆肥づくり、森の遊び場づくり、昆虫のすみか穴掘り、風車づくりによるエネルギー体験など～

【既存施設】

- 温水プール ★★★★★

- 25m・流水・造波・ちびっこ・冒険プール、スライダー、ジャグジープールでの楽しい健康づくり空間、スイミング講習会の実施

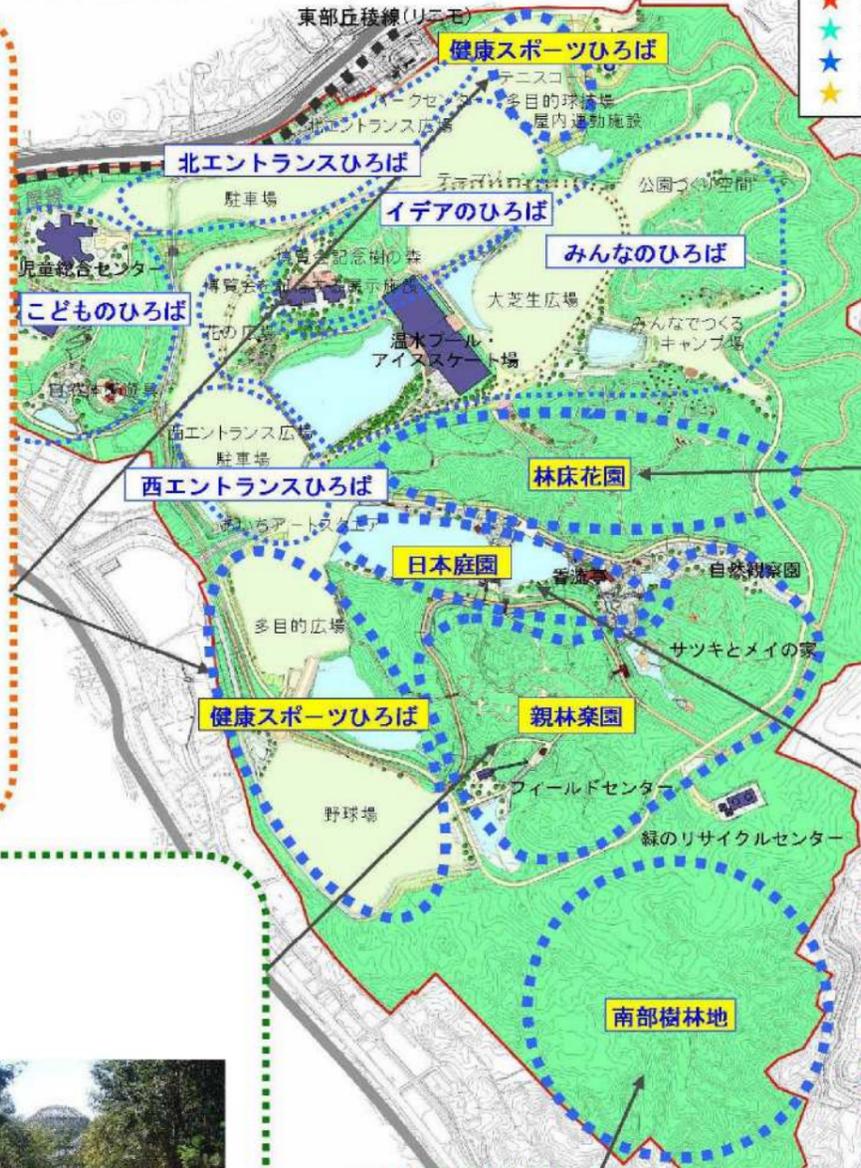
- アイススケート場 ★★★★★

- 周長200mの外周リンク、内リンクを活用したスケートによる健康づくり、スケート初心者向け教室、スケート練習の実施



※薄緑色の文字の運営プログラムは、博覧会継承プログラム例

■ソフト展開の内容-2



- 県民参加形態の区分凡例
- ★ 施設づくりにおける県民参加
 - ★ 施設づくりにおける県民参加
 - ★ ソフト企画における県民参加
 - ★ ソフト運営管理における県民参加
 - ★ 維持管理(植物、清掃)における県民参加

■健康スポーツひろば ~健康づくりスポーツを家族や仲間と楽しむ~

【整備施設】

- 各種健康づくりスポーツの場(兼用利用する多目的施設として計画) ★★
- ・各種スポーツイベント・プログラムの開催、家族や仲間との健康づくりスポーツ利用の他、学校や企業、NPOにスポーツ等の場として活用してもらう

多目的広場(運動会、ジョギング、マラソン等)、
多目的球技場(サッカー、ホッケー、ラグビー、ラクロス等)、
野球場(軟式野球、ソフトボール)、
テニスコート、屋内運動施設(パークセンター内)、
サイクリングコース

【運営プログラム】

健康づくりプログラム、
マラソン・ジョギング大会等
各種スポーツ大会



■林床花園 ~四季折々の樹林風景を楽しむ~

【整備施設】【博覧会前整備施設】

- 樹林地 ★★
- ・間伐等の手入れにより多様な花木や草花の自生を促すことができる森づくり
- ユニバーサル園路 ★★
- ・誰もが樹林地の自然に親しめる園路

【運営プログラム】

環境学習プログラム、
インタープリターガイドツアー、
樹林管理プログラム、



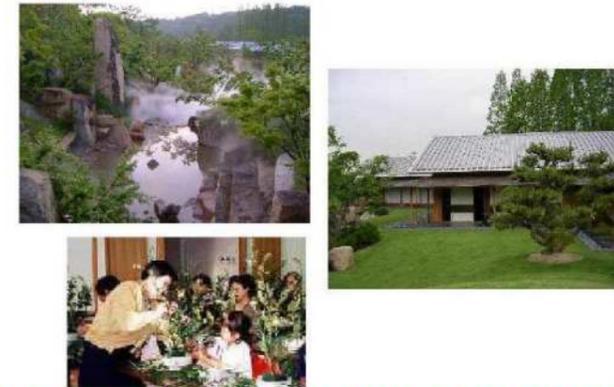
■日本庭園 ~伝統文化とのふれあい~

【博覧会前整備施設】

- 日本庭園 ★★
- ・水や緑に恵まれた環境の中で日本の伝統文化と触れあう庭園
- 茶室(香流亭) ★★
- ・お茶会をはじめとする各種伝統文化関連プログラムへの一般貸し出しや呈茶サービスの実施

【運営プログラム】

県民参加の伝統文化継承プログラム、
茶会・能・月見会など日本独自の文化や季節行事開催、
自然と融合した庭園を活用した造園技術講習会、
あかりアート



■親林楽園 ~環境学習・野外活動~

【整備施設】

- 樹林地 ★★
- ・樹林地の多様な自然を育む森づくり
- ユニバーサル園路 ★★
- ・誰もが樹林地の自然に親しめる園路
- 自然観察園 ★★
- ・水辺の植物、生物の観察空間
- ・水路等の自然回復

【運営プログラム】

環境学習プログラム、樹林管理プログラム

- 緑のリサイクルセンター ★
- ・刈草・剪定枝をチップ化及び堆肥化、園内リサイクルを实践、普及
- 【運営プログラム】見学ツアー、堆肥配布会

【博覧会前整備施設】

- フィールドセンター ★★
- ・環境学習の活動拠点

【運営プログラム】

環境学習プログラム、インタープリターガイドツアー、インタープリター養成

- サツキとメイの家
- ・博覧会人気施設の期限付き存置活用



■南部樹林地 ~緑地保全~

【整備施設】 ★★

- ・整備・活用は管理用園路など最小限にとどめ、希少種の保全を図る
- ・自然環境保全の研究の場として活用

【運営プログラム】

フィールドセンターを中心とした環境学習プログラムを通しての活用

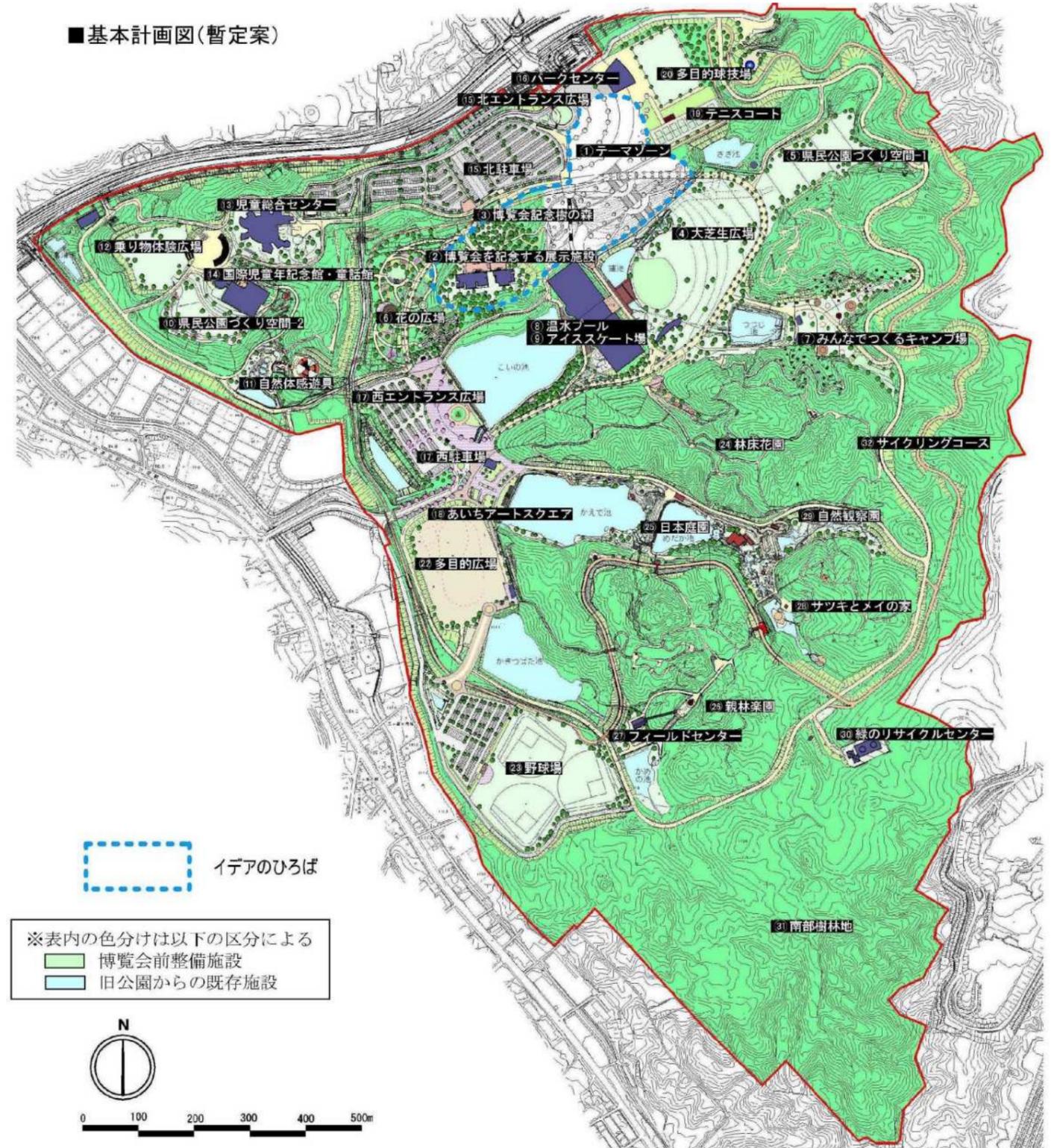


5.2 施設計画

これまでの検討内容を踏まえ、基本計画図・施設一覧(暫定案)として整理すると以下のようになる。なお、テーマゾーンについては、博覧会のテーマを引き継いだ展開としてさらに検討を進める予定であり、現段階では白表示としている。

ゾーン	エリア	施設名	施設概要
ひろばのゾーン	アイデアのひろば	① テーマゾーン	博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン
		② 博覧会を記念する展示施設	博覧会開催記念品の展示 迎賓館、レセプションホールを活用
		③ 博覧会記念樹の森	博覧会を記念した記念樹を移植
	みんなのひろば	④ 大芝生広場	広く開放的な芝生広場の交流空間: 5 ha
		⑤ 県民公園づくり空間-1	県民参加の公園づくり空間:1.5ha
		⑥ 花の広場	花木や草花により、四季の景を楽しむ空間、花と緑にかかわる新技術提案の場:2ha
		⑦ みんなでつくるキャンプ場	施設計画づくりを県民と行う、ディキャンプを主体としたアウトドア空間: 6ha
		⑧ 温水プール	(既設利用)流水・造波・25m・ちびっこ・冒険の各プール、スライダー、ジャクジー等
		⑨ アイススケート場	(既設利用)外周リンク周長200m・内リンク・スタンド
		こどものひろば	⑩ 県民公園づくり空間-2
	⑪ 自然体感遊具		風・水・森の各エリアで自然を体感しながら遊ぶ空間:1ha
	⑫ 乗り物体験広場		ワクワク感、爽快感を体験できる乗り物遊戯空間:1ha
	⑬ 児童総合センター		(既設利用)プレイアトリウム、各種プログラム等:延床面積16900㎡
	⑭ 国際児童年記念館・童話館		(既設利用)子どもホール、童話館、ビデオ室等:延床面積6230㎡
	北エントランスひろば	⑮ 北エントランス広場北駐車場	(県道)力石名古屋線、リモノ駅からのアクセスとなる公園の北入口 ・駐車場:普通車1125台他
		⑯ パークセンター	公園管理運営、県民参加活動拠点、休憩、インフォメーション、屋内運動施設等
	西エントランスひろば	⑰ 西エントランス広場西駐車場	(県道)田初名古屋線からのアクセスとなる公園の西入口 ・駐車場:普通車385台他
		⑱ あいちアートスクエア	彫刻等を配し、県産材を舗装等に活用した広場:0.7ha
	健康スポーツひろば(北)	⑲ テニスコート	8面
		⑳ 多目的球技場	サッカー場1面、ラグビー場1面、ホッケー場1面、ラクロス場1面:(兼用)
	健康スポーツひろば(南)	㉑ 屋内運動施設	体育館第1:1800㎡ 第2:800㎡ (パークセンター内へ併設)
		㉒ 多目的広場	陸上トラック、サッカー場、野球場、ソフトボール:(兼用)
	もりのゾーン	㉓ 野球場	野球場3面、ソフトボール3面:(兼用) ・駐車場350台他
㉔ 林床花園		ユニバーサル園路を利用して、四季折々の樹林風景を楽しむ空間:12ha	
㉕ 日本庭園		水や緑に恵まれた環境の中で日本の伝統文化と触れあう庭園:7ha、茶室(香流亭)1棟	
㉖ 親林楽園		フィールドセンター(㉗)を拠点とした環境学習・体験空間:24ha	
㉘ サツキとメイの家		博覧会人気施設の期限付きの存置活用	
㉙ 自然観察園		水辺の植物や生物の観察空間	
㉚ 緑のリサイクルセンター		刈草・剪定枝をチップ化及び堆肥化し、園内における緑のリサイクルを实践する施設	
全域	㉛ 南部樹林地	保全を優先した樹林地	
全域	㉜ サイクリングコース	1周約5kmのサイクリングロード、一部既設利用	

■基本計画図(暫定案)



5.3 主なひろばの整備イメージ

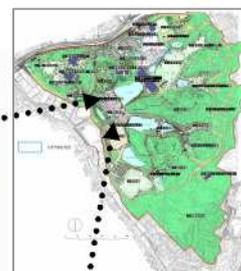
花の広場 花や緑のまちづくり推進に役立つ緑化技術や、花を生活に取り入れるライフスタイル提案の場。県民花づくり花壇や、バイオラング技術を活用した垂直花壇、壁面緑化した休憩所を配置



大芝生広場 大勢の人が参加・交流できる多様なイベントに対応する広く開放的な空間。県民参加イベント・プログラムの主会場として多目的に活用



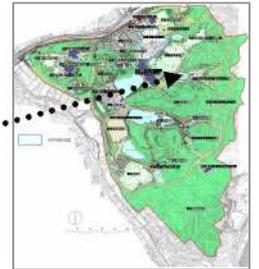
西エントランス広場 池や森を背景とした落ち着きあるイメージやエントランスとしての象徴性を演出するモニュメントを配置



あいちアークエア 彫刻やアート作品を配し、瓦などの県産材を舗装等に活用

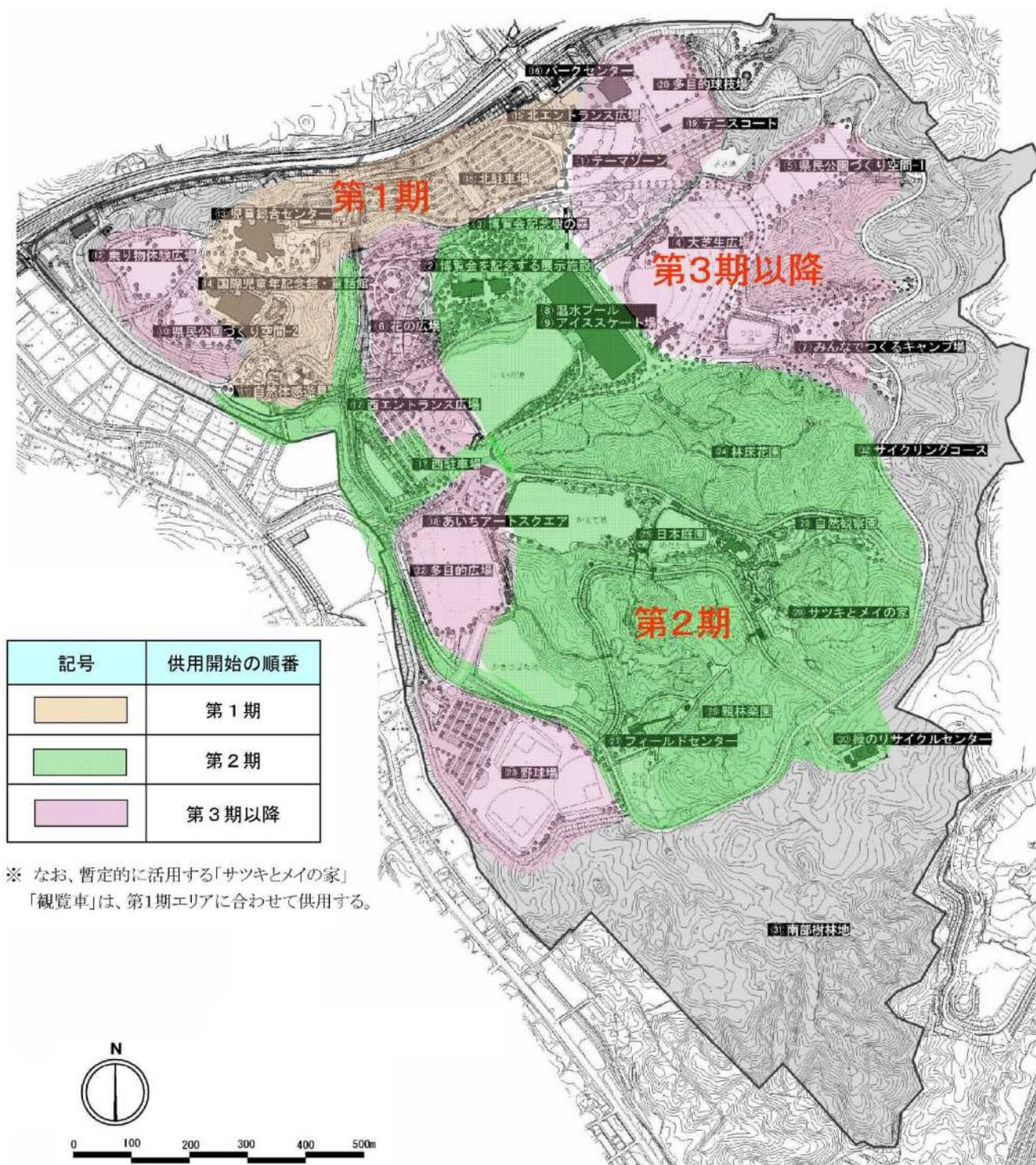


みんなで作るキャンプ場 ディキャンプ等の気軽なアウトドアレクリエーション空間



5. 4 開園の順番

本公園における開園のエリア別順番は下図の通りである。



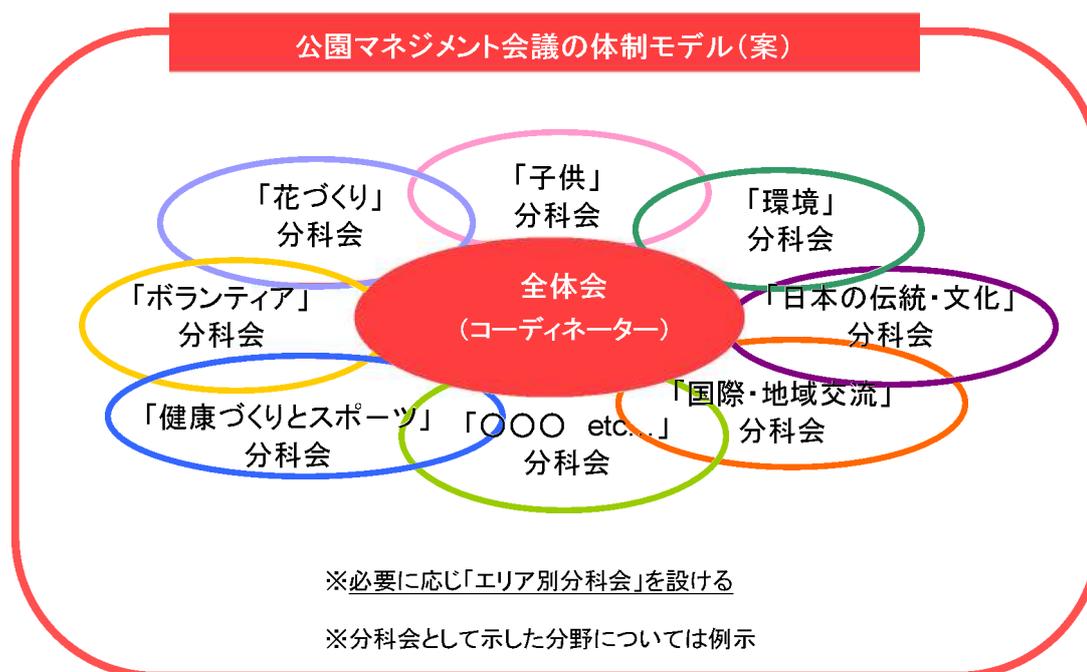
5.5 公園マネジメント会議の体制づくり

① 公園マネジメント会議の体制モデル

公園マネジメント会議は、行政、県民、企業、大学等、多種多様な人々により構成される上、公園のマネジメントの要素は多分野に渡る。従って、県民主体の管理運営を実現させる公園マネジメントの展開のためには、様々な立場や役割の人々から得られるたくさんの有効な意見や情報をスムーズに反映できる体制づくりが求められる。

よって、公園マネジメント会議に、公園で展開される活動の分野別分科会を設け、分野別の取り組みを行う。各分科会のメンバーは、公園マネジメント会議の構成者（行政、指定管理者、県民、NPO、ボランティア団体、企業、大学・研究及び関係機関等）と各分野の専門家などのアドバイザーにより構成する。

各分科会での検討や管理運営上の提案は、組織の中核となる「全体会」で話し合い、公園マネジメント会議の体制づくりを進めていく。全体会には、各チームや関係者を総合的にまとめる統括力を有したコーディネーターを配置し、県民と行政の中間的な立場で全体会をコーディネートしていく。また、必要に応じ、エリア別の分科会を組織し、分野別分科会や全体会との調整を図りながら、公園の開園エリア拡大に合わせたエリア毎のマネジメントを行う。



②公園マネジメント計画の策定

公園マネジメント会議の組織体制を確立させるためには、組織のルールとなり、公園および公園管理運営に関わる各要素（人、物、機能、活動、手続き等）を効果的に結合した「公園マネジメント計画」の策定が必要である。

基盤づくり期には、開園エリアのスケジュールと整合を図りつつ、各分科会が試行錯誤を繰り返しながら、全体会の場でマネジメント計画を徐々に組み立てていく。

この時期における検討により策定された計画を第1期公園マネジメント計画とし、将来期においてもこのしくみを継続し、5年後毎を目標として、PDCAサイクル（※1）による次期マネジメント計画策定を推進していく。この計画の成熟度に応じて、公園マネジメント会議自体が、初期の組織形態から将来期の組織形態へと成長していく。

■公園マネジメント計画の主な内容

主な内容
<ul style="list-style-type: none">・ 県民協働のためのしくみやルール・ 多面的な公園利活用・ プログラム運営人材育成・ 公園マネジメント会議運営

（※1）PDCAサイクル

: 「Plan（計画）」 「Do（実施）」 「Check（点検）」 「Act（是正処置）」 のイニシャルをとったマネジメント手法

5.6 「サステイナブル・パーク」の実現に向けて

これまでにまとめてきた本公園の整備内容は、「健康で精神的な豊かさと楽しさに満ち、県民と共に成長し続ける21世紀型の公園『サステイナブル・パーク』を目指す」という整備・活用の目標に基づいたものである。

これまでのまとめとして、本基本計画における『サステイナブル・パーク』への取り組みとなる整備内容を以下に整理する。

サステイナブルパーク **健康で精神的な豊かさと楽しさに満ち、県民と共に成長・進化し続ける21世紀型の公園**

■県民参加を組み込み、県民とともに成長する管理運営

- 県民(県民・企業・大学など)と行政とのパートナーシップを推進するための公園マネジメント会議の設置。
- 施設づくりから、ソフト企画、ソフト運営管理、維持管理等、様々な面で県民参加による展開に取り組む。
 - ・公園全体で一貫性のあるソフトプログラムテーマとして「環境と健康」と「参加と交流」を掲げ、公園全体で、県民参加のもと、持続的な環境づくり、健康づくりにつながるソフト展開を進める。
 - ・県民が計画作りから参加する公園づくり空間を設定し、県民の意見・アイデアで空間整備を行っていく。

■環境万博であった愛・地球博の継承

- 博覧会のテーマである環境と大交流を引き継ぐ展開整備を実現。その象徴となる「アイデアのひろば」を設定。
- 博覧会で展開された自然体感プログラムなど、地球環境を意識した日常生活につながるソフトプログラムを展開する。

■空間構成・施設計画・管理運営

- 公園の持つ存在効用(自然環境・地域特性)を考慮した施設計画を行う。
- 利用者が継続的に公園に関われるよう幅広い世代の人々が利用できる形態を目指し、広場などは多目的なニーズに対応できるものとする。
- 間伐材やリサイクル材の利用を推進。
- 刈り草・剪定材の園内循環の実践施設としてリサイクルセンターの設置。
- 廃棄物の分別収集や持ち帰りの推進。
- 自然エネルギーを活用した施設計画の推進。